

# 1、身近な自然と歴史文化を尊ぶまちづくり

## ① 農村風景と豊かな自然環境の保全

南部を山に囲まれ、北部に国指定快天山古墳が歴史の重み感じさせる栗熊地区には、緑豊かな自然環境があり、住民のみなさんにも地域の魅力として高く評価され、これらの緑や古墳を活かしながら、住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいと思われるような緑豊かな地域の魅力づくりに努める。



水 橋 池



寒桜



畦田展望台からの眺め

住民に潤いをもたらす、山などの緑地の保全を図るとともに、水田、ため池など、栗熊らしい自然・田園景観の保全に努める。



棚田



整地された圃場

遊休農地を利用した花畑づくり、菊の活用、周辺地域と連携した花街道の取り組みなど、花いっぱい運動の促進につとめる。



栗熊ガーデン



フラワーステーション

## ② 史跡の保存・整備

本地区には、快天山古墳、宇閑神社古墳、旧こんぴら街道沿いの地蔵などの史跡や、獅子舞などの文化財が残っている。

これらの歴史・文化遺産を引き継ぎ、現代の生活の中に生かす、個性的で文化豊かなまちづくりが求められている。

史跡・文化遺産の保存活用を図り、住民意識を高める。



宇閑神社古墳



快天山古墳出土品



快天山古墳



三ツ池公園



行末公園



天満公園



地域の文化・交流活動の拠点となる自治公民館やコミュニティセンターの整備・充実を図る。

史跡や文化財の整備・保存活用を図り、住民の意識を高めるとともに旧こんぴら街道など歴史的文化遺産をまちづくりに活用する。



① 勝福寺



② 福成寺



③ 専立寺



④ 宇閑神社



⑤ 住吉神社



⑥ 諏訪神社



### ③ 水辺環境の整備

河川やため池・農業用水路などの改修は、水辺環境の保全に努めるとともに、自然を生かした護岸など、環境を考慮し実施する。



香川用水



猫谷川



中大東川

### ④ 金毘羅街道の修景整備

アメニティタウン計画に基づき、こんぴら道、古墳など歴史的景観を生かしたまちづくりをする。



こんぴら道



天満地藏



こんぴら燈籠

## 2、日常生活が営みやすく賑わいと活力のあるまちづくり

### ① 公共交通の維持・充実

東西に延びる国道32号はバイパスの整備等により広域的な交通の利便性や安全性の確保が求められ、市道等の生活道路は狭く屈曲した道路も多く、景観・環境、防災、交通安全などに配慮しながら、人にやさしい道づくりに努める。

- 1、 農業生産の基盤として、また生産道路として、国道とネットワークを組み、農道の整備の推進を図る。



国道32号



農道

- 2、 電車・コミュニティバスともに、マイカー通勤、通学の増加により利用者が減少しているが、通勤・通学者や高齢者の貴重な足として維持・確保する。



ことでん



コミュニティバス

## ② 良好な住環境の形成

自然・田園環境との調和を図りながら、計画的な住宅地の開発とともに、高齢者や省エネ、防災に配慮した住宅づくりを推進する。

- ① 若者定住を促進する住まいづくり。
- ② 高齢者や障害者が安心して暮らせる住まいづくり。
- ③ 自然環境と調和した、住景観の整備の促進。

## ③ 働く場所や、新たな産業の創出

専門技術・経験を生かした Uターン者の起業家や、女性や高齢者などによる地域密着型の新サービス業や農産物加工業などの起業化や新規事業開発促進を図る。

農業は本地域の重要な産業であるとともに、地域環境を保全する役割を持っており、認定農業者・農業団体の育成、農地の保全・基盤整備、菊・野菜等の特産物の導入、「日曜朝市」などに取り組んでいる。

しかし、日本の農業は、輸入の増大と価格の低迷など、厳しい時代を迎えている。有機農業やブランド化、加工・販売への進出など高付加価値を図ると共に、定コスト化の取り組みがもとめられている。

安全で良質な農畜産物の振興など、本地域らしい高付加価値型農業の推進に向けて、担い手の育成・確保、農用地の保全と整備、森林の保全整備を図る。

#### ④ 歩行者通行空間の確保

交通安全施設の整備、危険箇所の道路改良と、適切な維持管理をする。

通学路などの歩道の整備、道路段差解消など、子どもや高齢者、障害者の利用しやすい道づくりの推進をする。



通学路



横断歩道



歩道橋

### 3、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

#### ① 高齢者福祉、障害者福祉の充実

##### 高齢者福祉

- 1、 元気な高齢者が生きがいをもって働き続けられるよう、高齢者農業の推進、圃場の整備、シルバー人材センターの充実、高齢者の職場づくりなどの促進する。
- 2、 高齢者による花いっぱい運動や自治会活動など、地域社会の維持活動を促進をする。
- 3、 地域で高齢者がお互いに助けあえるよう、高齢者ボランティア活動の活性化を図る。
- 4、 技能を産業や世代間交流、地域交流などに生かせるよう、場所と機会を拡充する。
- 5、 高齢者の生涯学習を支援する。



ゲートボール練習

##### 障害者福祉

豊かな福祉社会を実現していくためには、地域住民や、企業などにより、ともに支え合う地域社会づくりが求められている。

ノーマライゼーションの基本理念のもとに、地域での助け合いを強めていく必要がある。



保健福祉センター



## ② 防犯、防災、交通安全対策の充実

### 1、防犯

本地区では、丸亀警察署や栗熊駐在所の協力により、防犯活動を続けている。本地区の犯罪発生率はきわめて低く、安全な環境にあるが生活圏の広がり、地域連帯意識の低下などによる犯罪の発生も心配される。

犯罪を未然に防ぐためには、家庭、学校、地域、行政、警察の協力を求め、地域に密着した活動を展開する。

### 2、防災

本地区は古くから災害の少ないまちですが、阪神淡路大震災では本地区からも人的・物的・精神的支援にあたった、その教訓をもとに地域防災計画を見直し、防災対策の充実を図るとともに、防災組織の充実やボランティア活動など、住民の災害活動の活性化を図る必要がある。

災害に強いまちづくりをめざし、地区防災組織や、予防体制の充実、的確な防災活動ができる体制づくりと住民の防災意識の高揚に努める。



土嚢作り



消火訓練



非常食の試食



土嚢積み訓練

- ・ 自主防災組織の充実と防災訓練の実施
- ・ 防災マップ作成
- ・ 防災備品の充実
- ・ 非常食の確保



### 3、交通安全

自動車保有台数の増加、運転者の多様化、広域道路網の整備、通過交通量の増加などにより、交通事故の増加が懸念される。

交通安全に対する住民一人ひとりの意識を高めるとともに、道路の危険箇所の改良、交通安全施設の整備などをすすめる必要がある。また、交通事故被害者への救済が求められる。

#### ① 交通安全意識の高揚

幼児から高齢者まで、交通安全の指導強化を図る。

#### ② 交通安全対策の推進

道路の危険箇所改良

道路標示等の道路交通安全施設整備



集団登校



交通安全教室

### ③ 安心して子育てができるまち

地域における子育て環境の整備

- 1、身近な公園の整備、地域広場の整備など、安全で利用しやすい遊び場の確保。
- 2、子ども会活動、異年齢交流、三世代交流など、地域活動への参加を促進し、地域ぐるみで児童の健全育成に取り組む。

### ④ 健康づくりの促進

食生活の変化、生活習慣病の急増、高齢化の進行、精神疾患の増加など、保健をめぐる現状はめまぐるしく変わっている。

新たな問題にも対応するため、個人・家庭・地域社会・関係行政機関・医療機関が一体となって健康づくりに取り組む必要がある。

住民が生涯を通じて健やかに生活を送れるよう、病気の予防・早期発見、心身の健康づくりに取り組む必要がある。

- 1、生涯スポーツ活動と連携し、年齢や能力に合った軽スポーツや、レクリエーションの機会の場の提供に努める。
- 2、食生活改善を通じた健康づくりの促進をする。